

山口市における「地域型」子育て支援施設の講座・イベント時の使われ方

－既存建築を活用した子育て支援拠点整備に関する研究 その6－

子育て支援  
講座

親子  
イベント

地域施設  
使われ方

正会員 ○伊藤 優里\*  
 準会員 井上 愛梨\*\*  
 正会員 山本 幸子\*\*\*  
 正会員 中園 真人\*\*\*\*

1. 序論

本報は、山口市の「地域型」子育て支援施設の運営の組織構成及び、講座・イベント時の運用形態について論じた前報に続くものであり、講座・イベント時の施設や農地の使われ方の特徴について整理する。

2. 調査概要

一次調査として、講座・イベント時に利用される拠点以外の施設・農地の図面収集及び実測調査を行った。二次調査は、講座・イベント開催時に使われ方調査を実施し、参加者（親子）、スタッフ及び講師や協力者を対象とし、平面図に滞在場所・動線・行為内容の記録及びデジタルカメラによる撮影を行った。調査期間は2013年4月から12月である。

拠点・地域施設の概要を表1に示す。しゅっぽぼと小郡ぼっぽはそれぞれ交流センターと高齢者生きがいセンターに併設されている。拠点以外に利用される場所は併設施設や、施設代表者所有の畑等である。

キラ◇きら・楽楽楽・ひらひらは、空き民家を借りて

常設のひろばを設けているが、ひらひらは建物所有者が法事等の際に建物西側を使用するため、東側のみが利用されている。拠点以外に利用される場所は、3施設とも地域交流センターが主である。

各施設から利用する地域施設・農地までの距離は400m未満が多いが、小郡ぼっぽの場合、畑と小郡南総合センターが施設から2~3km離れている。

3. 講座・イベントの内容と場所の関係

講座・イベントの内容と実施場所について表2に示す。講座は合計32で、お話し系：9、食べ物系：8、運動系：4、工作：3、その他：8とタイプ別に分類した。内容と実施場所の関係について、しゅっぽぼは主に拠点のみで実施し、調理が必要な講座やイベント時には交流センター内の調理室を利用している。

小郡ぼっぽは、料理講座や大人数で行うイベント等の場合には地域施設や農地を利用しているが、水や糊を使う工作系の講座や、託児を行わない講座・イベントでは併設施設の1室を利用している。

表1 拠点・地域施設の概要

タイプ	施設名	拠点	地域施設	位置図
併設施設利用型	しゅっぽぼ			
	小郡ぼっぽ			
交流センター利用型	キラ◇きら			
	楽楽楽			
	ひらひら			

凡例：●：講座・イベント時利用施設 + 他地域施設 □：学校 ■：JR 〇：河川 △：国道 ○：県道

凡例：斜線：トイレ、点線：エレベーター、会：会議室、研：研修室、講：講義室、調：調理室、堂：講堂、視：視聴覚室、事：事務室、出：出張所、図：図書室、多：多目的室、ふ：ふれあいホール、和：和室

Usage of Lecture and Event of the Childcare Support Facility of Area in Yamaguchi city  
 Study on the Childcare Support Facility converted the Existent Architecture(Part 6)

ITO Yuri, INOUE Airi, YAMAMOTO Sachiko, NAKAZONO Mahito

表 2 講座・イベントの内容と場所の関係

場所	系	講座(32)					イベント(9)
		お話し系(3)	食べ物系(3)	運動系(3)	工作系(3)	その他(3)	
しゅっぽ	拠点		5月:簡単なおやつ作り	7月:親子で楽しくリズム体操(幼児学級の行事)		6月:浴衣の着付け	・8月:コール川西 ミニ演奏会 ・9月:お月見会 ・11月:文化祭 ・12月:餅つき大会
	地域施設						・4月:芋の苗植え ・10月:芋掘り
小郡	拠点			8月:親子リズム	7月:手作りおもちゃ	・7月:写真の撮り方 ・9月:ペビーマッサージ	5月:4周年記念イベント
	地域施設		・6月:おやつをつくろう(保健福祉センター) ・11月:郷土料理の伝承(保健福祉センター)				・4月:春を探そう(尾崎公園周辺) ・10月:合同運動会(南総合体育館) ・10月:芋掘り ・12月:クリスマス会
キラ◇	拠点		6月:フルーツポンチ作り				10月:キラ◇きら祭り
	地域施設	・4月:幼稚園で楽しいな! ・5月:子どもの育ちを支える親の役 ・7月:救急法を学びませんか ・10月:絵本で楽しい子育てを	8月:お父さんの料理教室 12月:ババの料理教室(伝承センター)	11月:体操遊び	12月:クリスマスリース作り	9月:お手玉遊びを楽しもう♪	
楽楽楽	拠点	5月:絵本とあそび				6月:花の寄せ植え	11月:ららの秋祭り
	地域施設	7月:子どもの病気のホームケア		4月:子育てママのエクササイズ	9月:指編みでシュシュ♪	8月:ママの散髪屋さん	・10月:ちびっこ運動会 ・12月:クリスマス会
ひらひら	拠点	・4月:手相であそぼう ・6月:気になるアレルギーのお話会 ・9月:なんでも座談会	5月:シュークリームを作ろう!			6月:浴衣の着付け 学びませんか?	
	地域施設		8月:フライパンで作ろう! ~ひらひら野菜ピザ~			12月:ペビーマッサージ	・5月:夏野菜の苗を植えよう! ・10月:ハロウィン(施設周辺) ・10月:みんなでさつまいもを掘ろう ・11月:インターナショナルランチパーティー

キラ◇きは、拠点では親子と一緒に楽しむものや拠点内の設備で実施可能な講座・イベントを行い、子育てに関する勉強会や親の料理教室など、託児が必要な場合には大殿地域交流センターや伝承センターなどの地域施設を利用している。

楽楽楽は、キラ◇きと同様に託児が必要な場合や、広い空間で実施する場合に交流センターを利用しており、拠点では、絵本の読み聞かせや屋外空間を利用した「ららの秋祭り」などが実施されている。

ひらひらは、託児のあったピザ作りの際には交流センターが利用されたが、主に講座・イベントでは子どもは見守り程度のため拠点が利用されている。

以上より、しゅっぽと小郡は交流センターや高齢者生きがいセンターに併設されているため、主に拠点や併設施設が利用されていた。また、キラ◇き・楽楽楽・ひらひらの民家を活用した施設では、参加者が多く駐車場が必要な場合や、託児を行う場合に地域施設が利用されている。

#### 4. 講座・イベント時の施設や農地の使われ方

##### 4-1 講座

表 2 を基に、タイプごとに特徴的なものを抽出して示す(図 1)。まず食べ物系から、地域施設で実施された小郡の「おやつを作ろう」と、拠点で実施されたひらひらの「シュークリームを作ろう」について示す。小郡のおやつを作ろうは保健福祉センターの調理室で講座が行われ、同じ階の研修室で託児が行われた。この講座では、小郡の食生活改善推進委員 8 名が講師となり、幼児のおやつとして小松菜の蒸しケーキとおむすびの作り方を教えた。参加者は 10 組で、2,3 名ずつ分かれて調理台につき、講師が各調理台について指導した。また、調理可能な年齢の子どもも参加し、丸椅子の上に立ち調理台でおやつ作りを行った。そして調理終了後は、

各調理台に丸椅子を並べ、託児で預けていた子どもも呼んで食事会が行われた。

ひらひらの「シュークリームを作ろう」は拠点で実施され、講座は台所とプレイルームの間の建具を撤去することにより空間を一体的に利用していた。また、託児は和室に加え、ウッドデッキにマットを敷いて臨時的遊び空間としていた。講師は元パティシエ施設利用者で、シュークリームを一から作るのには時間がかかり、講座時間内には厳しかったため、講師が事前に自宅でシュー生地とカスタードを作って持参していた。講座では、まず講師が台所でカスタードを実際に作って見せ、その後、参加者にシュー生地にカスタードを詰める作業を行うという形で実施された。講座中は、託児の場が同じ空間であるため、子どもがプレイルームの親の側に来てしまい、作業を中断する姿もみられた。

運動系は、しゅっぽの「親子で楽しくリズム体操」と楽楽楽の「子育てママのエクササイズ」について示す。しゅっぽの「親子で楽しくリズム体操」は通常開館日に拠点で実施され、室内全体が利用された。講師はフィットネスインストラクターで、子どもと一緒にできるヨガやエアロビクスを音楽に合わせて行った。また、おもちゃ置き場の前に畳を敷き、運動に参加しない親子が遊べる場を設けていた。

楽楽楽の「子育てママのエクササイズ」は、吉敷地域交流センターの 1 階の講堂で講座が、2 階の視聴覚室で託児が行われた。講師は施設スタッフの知人のインストラクターで、内容はしゅっぽとは異なり、母親のリフレッシュを目的としたヨガやエアロビクスで、講堂全体を使って運動が行われた。また、視聴覚室で託児をする際には、施設からおもちゃを持参し、机を片側に寄せ、子どもが走り回れる空間を確保していた。そして、乳幼児を寝かせる場合には、床にシートを敷きその上に寝かせていた。



図1 講座時の使われ方

お話系は、キラ◇きらの「幼稚園って楽しいな」と、拠点で実施されたひらひらの「手相であそぼう」について示す。「キラ◇きらの幼稚園って楽しいな」は、大殿地域交流センターの講座室で講座が行われ、野田学園幼稚園副園長の方が講師となり講師の方が絵本を読んだり、子どもについてのお話をしたりした。託児室は講座室とは別に設けられたが、同じ階の和室が利用されたため、子どもの泣き声が講座室まで度々聞こえた。

ひらひらの「手相であそぼう」は、ライフアドバイザーの方が講師となり、ひらひらの和室を使って行われ、託児はプレイルームを利用した。参加者は9組で、講師が手相の書かれた紙を参加者に配布し、それぞれ説明をした後、1組ずつ手相を見る時間が設けられた。講座中

は、親がプレイルームで遊ぶ子どもに目をやりながら講師の話を聞いていた。その他の講座として、楽楽楽の「花の寄せ植え～パンジー、ピオラが終わったら～」を示す。この講座は拠点で実施され、庭で講座が、室内で託児が行われた。施設スタッフが講師となり、花の選び方、プランターへの植え方を指導した。作業はウッドデッキ前のよしずがかけられた場所で行われた。また、室内の託児では子どもが庭で講座を受ける母親の姿を見て泣くのを防ぐため、庭の様子が見えないようにカーテンを閉めていた。花の寄せ植えが終わると、庭の木陰でスタッフと参加者が一緒にお茶を飲んで交流が行われた。



図2 イベント時の使われ方

#### 4-2 イベント

特徴的なイベントとして、ひらひらの「ハロウィン」、小郡ぼっぼの「芋掘り」、キラ◇きらの「キラ◇きら祭り」について示す。ひらひらの「ハロウィン」では、拠点に集合後、施設近くの「タウンベーカーリー風緑」に歩いて行き、お菓子をもらっていた。そして、中村公会堂で、地域の人から提供されたかぼちゃを親子でくりぬいてランタンを作った。このイベントでは、施設周辺の住民に協力を依頼し、複数の場所を利用しているのが特徴である。

小郡ぼっぼの「芋掘り」は、施設代表者が借りている畑で実施された。地域の老人クラブの人が協力者となり、さつま芋の蔓を切る作業や、芋を掘る補助を行った。また、施設スタッフが大鍋を持参し、畑で豚汁やさつま芋フライを作り、芋を掘り終えた参加者に振る舞った。

キラ◇きらの「キラ◇きら祭り」は拠点で実施され、室内と屋外の両方が利用された。室内では、山口県立大学の学生ボランティアが絵本の読み聞かせや手遊び歌を行ったり、地元のミュージシャンのライブが行われた。また、屋外にはテントを設置し、その中に魚釣りやヨーヨー釣りなどの遊ぶ場を設け、室内で次の催し物を準備する間、参加者に屋外で過ごしてもらっていた。

\* 山口大学大学院理工学研究科 博士後期課程  
\*\* 山口大学工学部感性デザイン工学科 学部生  
\*\*\* 筑波大学システム情報系 助教・博士(工学)  
\*\*\*\* 山口大学大学院理工学研究科 教授・工博

\* Doctoral Course, Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ., M.Eng.  
\*\* Undergraduate, Dep. of KANSEI Design Eng., Faculty of Eng., Yamaguchi Univ.  
\*\*\* Assistants Prof., Faculty of Eng., Information and Systems., University of Tsukuba., Dr.Eng.  
\*\*\*\* Prof., Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ., Dr. Eng.